



あのときの常呂・写真館

VOL59

(1973年)

昭和48年2月1日 常呂保育所開所式



▶昭和48年2月号の「広報ところ」は、この開園を次のように伝えています。

*待望久しかった町立通年保育所が2月1日開園しました。町内では初めての本格的な通年制保育所とあって、関係者35名のほか、お母さんの手につれられた30名の保育園児など約100名がこの開園式に参列、近代的保育園の開園を喜びあいました。

*2月とあって常呂町の産業の中心である農業漁業関係で働くお母さんが少なく、入所した園児は30名と定員以下でしたが、4月の活動期には満員の園児の入所が見込まれて



おり、この保育園の開設は、産業関係者からも大きな期待が寄せられています。

*写真3枚は、保育所の全景、正面、そして落成・開所式の様子です。





*下の2枚は、開所した翌49年のおゆうぎ会のもの。



▶この常呂保育所が開設されるまでは、今の開進町会館の場所にあった「めぐみ保育園」がその役割を果たしていました。めぐみ保育園は、昭和34年基督教常呂教会に併設され、6月3日開園、昭和47年に町に移管され、同年12月15日に閉園しています。

*左はめぐみ保育園の前景と遊び場（旧立正寺側に向かい斜面になっていました）

*常呂保育所を建設した場所には、かつて終戦直後にカラフトなどから引き揚げ、常呂町に居住した家族のために急ごしらえで建設された引揚者住宅がありました。

*引揚者住宅は、昭和23年から27年にかけて、大島にあった旧陸軍の三角兵舎を移転・改築したり、資材難を工面しながら数回に分け建設したもので、ほとんどは昭和40年に姿を消しました。右は解体前、昭和39年の写真です。

